

2022年8月22日
東京海上ディーアール株式会社

防火防災 E ラーニングサービスの提供開始

東京海上ディーアール株式会社（代表取締役社長：嶋倉 泰造、以下「当社」）は、製造業や小売り事業者の火災防止・災害防止を目的とした教育ツールとして、従業員向けの防火防災 E ラーニングサービスを開始いたします。当社は、本サービスを通じて企業のリスクマネジメントをサポートして参ります。

1. 背景

近年、大規模な火災や自然災害発生により、物的・人的被害や事業停止が引き起こされています。その際には、緊急時への備えや対応するための知識・意識不足により被害が拡大することも多く、企業はこれまで以上に従業員への教育・研修に力をいれる必要があります。

一方、防火・防災という観点においては汎用的な教育ツールが少なく、またノウハウを共有することも困難であり、良好な教育機会を提供できないケースが少なくありません。

このような状況を踏まえ、当社がこれまで企業向けリスク低減コンサルティングで培った豊富なノウハウを基に教育コンテンツを作成し、E ラーニングサービスとして提供を開始いたします。

2. サービスの概要

本サービスでは、特に火災の発生防止・拡大防止に主眼を置いた E ラーニングコンテンツを提供いたします。特に以下3点のような利点があります。

① 保険会社グループが蓄積した豊富な防災ノウハウ

当社が長年の企業向けリスク低減サービスで培った火災に関するノウハウを E ラーニングコンテンツに掲載しました。過去の火災事例やその再発防止対策、防災上の重要な着眼点など、防火防災の基本事項から実践的な内容まで、高いレベルの教育受講が可能となります。

50 以上のコンテンツ搭載を予定しており、今後も適宜コンテンツの増加、改善を図っていきます。

② E ラーニングによる自由度の高い教育機会の提供

受講者は PC やタブレット端末、スマートフォン等で教育受講が可能です。時間や場所にとらわれず、容易に教育を受けることができます。例えば、複数の製造拠点での

受講や、サプライチェーン共通の教育を提供することも可能となります。

また、これまで当社が個別客先に対して展開していた防災コンサルティングのノウハウを、Eラーニングでのシステム化により幅広いお客様にお届けすることが可能となりました。

③ 容易な教育管理

研修や教育を実施するには細やかな記録管理が必要ですが、Eラーニングでのシステム化により、オンラインで受講記録を管理することができます。

火災（燃焼の3要素）の概要

- 火災とは人の意図に反して発生、拡大した燃焼現象
- 火災は燃焼の3要素が揃ってはじめて発生
- 燃焼の3要素

確認ポイント
直火対策、高温対策、 静電気対策
危険物管理、可燃物管理
酸素遮断

3. 今後について

東京海上日動のネットワークを通じて、サービスを展開していく予定です。

更には、コンテンツの拡充によりサービス品質の向上に努めてまいります。

以上